

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 2

平成24年2月6日発行

東京都杉並区梅里 1-22-32[社会教育センター内]TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

VOL.17

ゼミ活動の発表会！

1月28日
昼コース

発表会でも

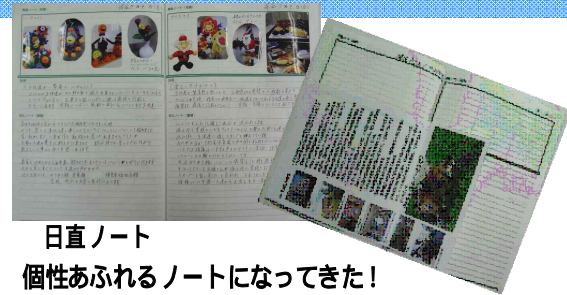
個性がプクプク



毎回、講座の始めに行う5分間日直。「私のだがしや楽校論」と題し、交代で行ってきた。実は、事前に各自でノートにまとめてきているのだ(右写真)。また、日直の際に自分を表すものを持って来る方も多し。本日の日直の保正さんも在住のマンションで育てている花を持って来られた。これも自分見せのひとつだ！

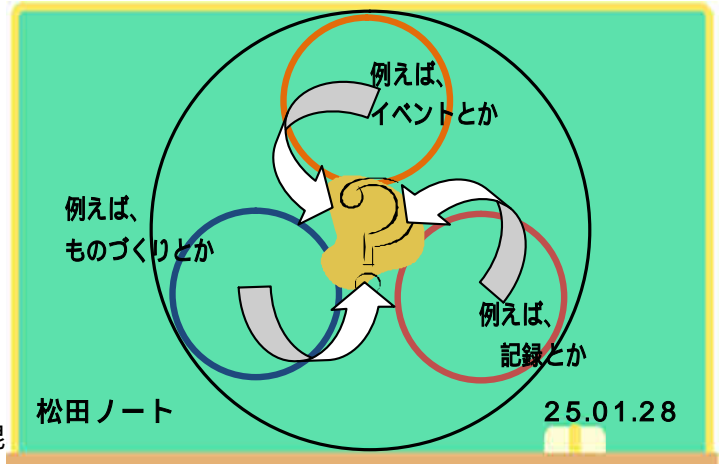
さてさて、今回はこれまで5回行ってきたグループごとゼミ活動の発表会だ。あくまで準備は簡単に、これまでの活動を15分で発表(発表内容の詳細は下記)。

これまででも、わづくりの会のりんご作りをみんなで行ったり、毎回の講座の最後に活動状況の共有を行ったりと他のグループの活動を知ってはいたが、改めて発表すると、新たな発見が生まれていたようだ。「きょうりゅう倶楽部が卒業後のことまで考えているのは素晴らしい」や、「わづくりの会の発表に歌があるのはgood」、「だがしや楽校 物語グループが本当に本を作るとは思わなかった」など、驚きや感嘆の声が拳がっていた。その中でも、「何もない所から何でも生まれてくる、その中からつながっていった」という感想に対して、松田先生から「よく言う地域活性化は、ここの場のようにそれぞれの個性からプクプクと面白いものが生まれ、ドロドロと混合していく中で生まれるのです」と右図を用いて話された。自分の持ち味を他者と混ぜ合わせることで、相互作用が生まれる。それによって地域とつながる思わぬ発見があるかもしれない(坂本)



日直ノート

個性あふれるノートになってきた！



きょうりゅう倶楽部

卒業後の活動を見据えて、永福町のイベントへの参加

を計画中。持ち味のおす

そ分けという、だがしや楽校の考え方を地域に還元できないかと考えているところ。まずは、前述のイベントで得意のママレードや竹パウダーを使って出店する予定。

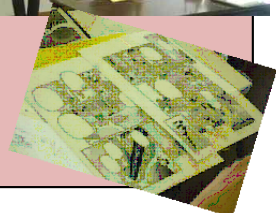
わづくりの会

山本さんのアイデアでペープサートを作成！

表面にグループ名、裏面に自らの学びを書き、これまで作ったものを手に持ちながら、児童館や年賀状売りの方と「もの」を通しての交流が生まれた。最後は歌を歌って締めくくり。

だがしや楽校 物語

10軒近くの東高円寺駅通り商店街の方々や受講生へのインタビューや商店街を猫の目線から描いた漫画などを制作。まとめて本にしちゃおう、と現在制作途中(右下写真)。3/2の成果発表会に取材先の商店街の方もご招待、の予定。



1月30日
夜コース

ワークショップふりかえり

チームで、ワールドカフェで、皆で共有！



<ふりかえりまとめ>

- ・楽しい、良かった、新しい体験などで「新しい発見」があったのは good！ 学びの成果があると、満足度高し。
- ・企画の意図が伝わっていたか？ ただ話すので良いのか、深めるのか？
- ・プログラムの立て方として、参加者同士が、お互いの参加の背景やエピソードを知ること、深い交流が生まれる。
- ・リードしすぎたり、結論を急がせないように。また、逆にまかせっきりでなく、参加者のつなぎ役となること。
- ・話し合いの場をしっかりととることは重要。「雑談」と「しっかり話す」ことはまったく別。
- ・参加者の意識が高いと、期待値も高くなる。(広石メモより)



まずは、チームでふりかえり

27日に無事終了したワークショップ。ワークショップの講座内でも、「最後には参加者とのふりかえりの時間を必ずとること」が大切！と言い続けた。実はそれは、開催した私たちも同じ。主催者として次のステップへ進むために、ここでしっかりふりかえっておこう。まずは参加者のアンケートを皆で見て、チーム内で共有した。参加者アンケートは正直者。なるほど、そうだったなあと新たな気づきを受講生に教えてくれる。各チーム発表とそれへの広石さんのコメントは左にまとめてみた。そのあとに、自分達の反省を話し合った。「とにかく、やってみることの大切さを知った」「意図を理解してもらえれば、お客さんが進进行を助けてくれた」など、印象的な発言も相次いだ。

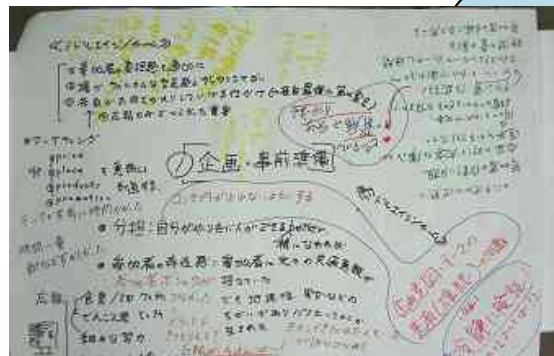
次は、大人塾名物！ワールドカフェでふりかえり

今回のテーマは下記3つ。テーマが決まっている3つのテーブルすべてを全員で回り、意見を出し合う。模造紙に書かれている他の意見も読むことができ、そこから新たな気づきや、発展した意見なども出てくる。ワールドカフェはそんな優れモノだ！机に貼りついている？進行役「カフェマスター」が皆の意見を引き出し、最後に発表を行った。

まずはやってみること。そこから始まった、ワークショップ企画。今年とはくにレベルの高いワークショップが行えたとの広石さんの嬉しい話であったが、何よりも受講生のチームワークと、課題への強い思いが、この成功の原因だったに違いない。成果も反省も今後の財産にしていきましょう！

企画・事前準備について

- ・コンセプトがぶれないようにする。
- ・企画意図、共有を何度も確認！なかなか集まれないので、時間がかかった。なんといってもPRが重要。チラシの作り方、どうしたらきってもらえるか？参加者の立場にたった企画を。
- ・区民のニーズを知る。ほか



今後の発展・継続・可能性

- ・成果を発信する 次への集客につなげる。
- ・様子がわかるような写真レポート 来やすくなる。
- ・直接連絡を取る手段を考える。
- ・作るものを発展させていく。
- ・年齢層を広げる。
- ・MLを作ったり、SNS、インターネットの活用。
- ・場所を変えて行ってみる。ほか

ワールドカフェやったぞ！

当日の運営について

- ・自己紹介の方法が大事。
- ・当日の流れを参加者に知らせておく。
- ・課題の誘導。
- ・役割分担は重要。
- ・臨機応変のアドリブ力！
- ・アクシデントはおこるものと理解しておく。
- 対応も考えておく ほか



□すぎなみ大人”熟”してる？の発行にあたって□

この新聞は事務局スタッフ松坂・坂本・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。